

調 査 報 告 書

所属名 教育委員会総務課

1. 工 事 番 号 25雲教小第59号
2. 工 事 名 八斗木小学校校舎防水改修工事
3. 入 札 日 平成25年11月7日
4. 予 定 価 格 17,137,000円（税抜き）
5. 落 札 価 格 16,800,000円（税抜き） （落札率 98.03% ）
6. 調 査 者 職氏名 総務部次長兼管財課長 関 精一
職氏名 教育委員会総務課長 坂本 英知
7. 工事費内訳書徴収先 森山建設(株)ほか

8. 「工事費内訳書」調査結果

調査事項	結 果
1. 企業別の「入札額」と「工事費内訳書」の比較	1. 入札額と提出された工事費内訳書の比率を見ると、落札者以外は各社で見積もった額の90%程度で応札していることから、最低制限価格帯を目掛けて見受けられる。 また、落札者は見積もった額の95%程度で応札していることから、最低制限価格帯でなく、予定価格以下を目掛けて見受けられる。
2. 企業別「工事費内訳書」と「設計額」との比較	2. 落札者以外でも設計額を上回っている企業もあるが、殆どの企業が低く見積もっている。
3. 企業別「工事費内訳書（直接工事費）」と「設計額（直接工事費）」との比較	3. 直接工事費の主な差額は「仮設工事」であり、片付け清掃（△356千円）、足場（△150千円）、養生（△74千円）等を低く見積もっており、各社の見積もり方にバラツキが見受けられる。
4. 企業別「工事費内訳書（諸経費）」と「設計額（諸経費）」との比較	4. 諸経費の比較では、直接工事費以上に比率差が大きくなっており、各社の諸経費の見積り方にバラツキが見受けられる。
5. 雲仙市の考え	5. 内訳書の比較から、各企業の積算方法及び応札については、それぞれの企業の考え方によるものと思われ、公表されている公共建築工事積算基準の歩掛からではなく、市販の刊行物単価を基に過去の応札経験などを考慮し、独自の単価を計上し、低く見積もったものと推察する。 なお、市の設計については、公表できる単価については公表を行い、また単価の決定についても積算基準に基づき、適正に積算を行っているが、仮設工事など公表単価以外を採用する工種について、仕様、条件明示が不明確であった。
6. 今後の課題	6. 仮設工事など公表単価以外を採用する工種については、現状の仕様書では条件明示が不明確なものが見受けられるため、表示方法の検討が必要であると思われる。